

表1：一般会計の執行状況 (単位：千円、%)

費目	予算現額	収入済額(執行率)
歳入	38,773,937	29,895,535 (77.1)
市 税	12,674,825	12,294,630 (97.0)
国庫支出金	6,659,130	5,922,174 (88.9)
地方交付税	6,121,046	6,113,430 (99.9)
市 債	3,887,600	121,200 (3.1)
繰入金	2,936,345	578,251 (19.7)
府支出金	2,544,457	1,511,141 (59.4)
使用料及び手数料	611,087	554,037 (90.7)
分担金及び負担金	410,140	365,977 (89.2)
その他	2,929,307	2,434,695 (83.1)
費目	予算現額	支出済額(執行率)
歳出	38,773,937	32,665,475 (84.2)
民生費	15,292,618	14,229,292 (93.0)
教育費	4,848,418	4,030,975 (83.1)
総務費	4,723,000	2,653,794 (56.2)
衛生費	3,828,130	3,094,972 (80.8)
公債費	3,596,816	3,545,877 (98.6)
土木費	2,806,223	2,282,189 (81.3)
農林業費	1,424,393	1,111,681 (78.0)
消防費	1,385,198	1,151,372 (83.1)
その他	869,141	565,323 (65.0)

表2：特別会計・水道事業会計の執行状況 (単位：千円、%)

会計名	歳入		歳出	
	予算現額	収入済額(執行率)	予算現額	支出済額(執行率)
特別会計	31,278,192	27,405,153(87.6)	31,278,192	27,812,773(88.9)
国民健康保険事業	14,352,622	12,690,109(88.4)	14,352,622	13,444,588(93.7)
土地取得	1,450,257	1,393,255(96.1)	1,450,257	1,393,255(96.1)
部落有財産	83,133	82,909(99.7)	83,133	82,497(99.2)
下水道事業	4,278,419	2,858,936(66.8)	4,278,419	3,289,138(76.9)
介護保険	9,474,511	8,739,098(92.2)	9,474,511	8,245,234(87.0)
後期高齢者医療	1,639,250	1,640,846(100.1)	1,639,250	1,358,061(82.8)
水道事業会計	3,317,986	3,231,531(97.4)	3,701,607	3,452,705(93.3)
収益的収支	2,707,845	2,703,097(99.8)	2,671,845	2,600,631(97.3)
資本的収支	610,141	528,434(86.6)	1,029,762	852,074(82.7)

表3：市債・基金の状況 (単位：千円)

種類	金額	主な使い道
市債	60,278,142	
臨時財政対策債等	16,949,708	財源不足への対応
通常の建設地方債	12,663,428	教育・福祉施設等整備事業債など
下水道事業債	26,100,706	下水道事業
水道事業債	4,564,300	水道事業
基金	9,566,219	
財政調整基金	2,604,053	財源不足への対応
普通建設事業基金	2,003,543	一般建設事業
減債基金	849,400	借金の返済
その他特定目的基金	3,935,004	長寿ふれあい基金など
水道事業基金	174,219	用地取得・施設整備など

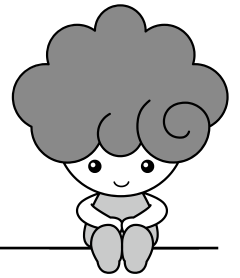
※市民1人当たりの市債の額は545,825円、基金の額は86,623円です。

◎平成26年度下半期◎

財政事情の公表

今年3月末までの予算の執行状況と、市の財産の状況についてお知らせします。

問い合わせ 財政課



一般会計・特別会計と水道事業会計の状況

平成26年度一般会計予算は368億9522万4千円(繰り越し予算含む)でスタートしましたが、18億7871万3千円を増額補正し、最終的には387億7393万7千円になりました。

最終予算現額に対する執行状況は、表1のとおりです。なお、市民1人当たりの市税負担額は11万4150円、1世帯当たりでは26万6409円です。

また、市では一般会計と分けて経理する必要のある6つの特別会計と、公営企業とし

て水道事業会計を設けています。これらの収支の状況は表2のとおりです。

基金・市債・財産の状況

市の貯金である基金、市の借金である市債の状況は表3のとおりです。なお、一時的な現金の不足に対しては、一般会計と各特別会計の会計相互間での現金運用や財政調整基金などからの一時的な借り

入れで対応しています。また、市の財産(土地・建物)は、土地が294万9793平方メートル、建物が26万6757平方メートルとなっています。

総合的・計画的なまちづくりを目指して

少子高齢化の一層の進展や人口減少により、今後の財政収支の見通しは極めて厳しいものと見込まれますが、新た

な行財政計画により財政構造改革を行い、少子高齢化時代にふさわしい財政運営を確立していきます。

※文中や各表の数値は、平成27年3月31日現在のものです。会計年度は終わっていますが、5月31日まで出納の整理を行いますので、平成26年度決算の数値とは一致しません。